



ここにくれげ



えろね

2014.1.26



川口ぞうHP <http://kawaguchizou.sakura.ne.jp>
メール kawaguchizou21@s8.dion.ne.jp
荒木 Tel. 048-268-9256

節分が近づいてきました。豆まいてかぜっぴきインフルエンザ&ノロウィルスのオニを追い払い、東方巻まかじって今年も元気にまいりましょう。ちなみに今年の東方は東北東だったかな…。

木下サーカスのゾウと一緒に「ぞうれっしゃ」を歌おう！に、なななんと20名が遠征か？

木下サーカス名古屋公演のテントの中で、本物のゾウさんと一緒に、「ぞうれっしゃ」を歌う集い合同練習会は、3月16日、21日、22日本番直前の3回ですが、遠方ですから、川口ぞうとしては、①21日から参加 ②22日当日日帰りの二つでいきたいと思います。チケットの予約や前日から参加の場合のビジネスホテルの手配なども、まとめて行いたいと思ったのですが、予想を超える参加者となったため、宿泊など各自の対応になりそうです。うれしいことですが、スタッフも全員行けるわけではないのでごめんなさい。

かわいい名札、ぞうさん体制か？

介護休暇中のMおばちゃんが、ここよりもっと寒い北陸の地で、せっせ〜つと♪作って送ってくれたゾウさんのかわいい名札ですが、前回の練習ではあつという間に売り切れてしまいました。なんと今回は増産したゾウさん名札を、遠く金沢から行商にやってきてくれました。す、すごい！

新年会、盛り上がり午前さまか？

昨夜決行された大人の新年会ですが、夕方から深夜まで（一次会〜三？次会）川口ぞうれっしゃの紀元前から明日の練習、3月の名古屋、進化した？未来のぞうれっしゃまで、話は尽きませんでした。何を勘違いしたか23年間も続けてやっていると、楽しいこと、悲しいこと、うれしいこと、苦しいことなどなど、人生いろいろ、一人一人に歴史あり…なんてね。人の出会いとすてきなご縁を積み込んで、まだまだ走るか？ぞうれっしゃ。ちなみに今回の新年会は、入れ替えも含め総勢20〜30名の参加。コンダクター依田さん、ピアニスト大和さんも二次会まで参加していただきました。今回参加できなかった方とも交流を深めたいので、今後も様々な形で機会を設けたいと思っています。

お屋のなかよし企画♪動物園に行こう！子どもだって盛り上がるゾウ？

その機会の一つとして前回のコアにも載せましたが、夜ぞうに参加できない子どもたちや、ちびちゃん連れのご家族のために、あつたかくなったら上野動物園へ遠足を企画しようと思っています。たぶんお花見の時季が終わって連休になるちょっと前、4月19日土曜日あたりかな。お弁当を持ってくもよし、コンビニや売店で何か買うもよし。自由なスタイルで気軽に楽しみましょう。もちろん、大人の人たちも参加してくださいね。

毎日新聞売り切れ店続出か？

朝日新聞に続き、前回の練習日の取材に来ていた毎日新聞が、川口ぞうれっしゃの今を記事にしてくれました。あまりの反響？で売り切れてしまい、なかなか手に入らなかつたようなので裏面に掲載しました。

次の練習日は2月9日です。ここにくれげあえるね♪

川口ぞうれっしゃ合唱団

6月第12回演奏会 メンバー募集中

合唱組曲「ぞうれっしゃがやってきた」の12回目のコンサートが6月28日、さいたま市の埼玉会館大ホールで開かれる。川口市民らでつくる「川口ぞうれっしゃ合唱団」が1991年に川口総合文化センター・リアで初演し、その後2年ごとに歌声を披露してきた。公演ごとにメンバーを募集しており、今回も「一緒に歌いましょう」と呼びかけている。

【鶴沢哲雄】

「一緒に歌い、晴れやかに」

全11話の組曲は、名古屋山崎動物園のゾウ2頭が太平洋戦争中、園長の必死の努力で餓死をまぬがれ、生き残った実話を基に作られた。戦後、「ゾウに会いたい」と願う子どもたちの夢をかなえるため、埼玉、東京、大阪など全国から子どもたちを乗せた特別列車「ぞう列車」が動物園に向け走った。

まっすぐに伸びたレールは……象たちのもっとへとどく……長い戦争を生き抜いた象たちに 象たちの命を守った人たちに 象列車よ 急げ やみをさいて走れ 象列車よ急げ 空をかけて走れ

合唱団代表の荒木紀理子さん(58)は90年に蔵手で開かれた別のグループの演奏会を聞いたのがきっかけとなり、翌年「川口でも歌おう」と仲間と企画し団員600人とコンサートを開いた。

昨年11月から練習を開始。現在は2歳から82歳までのメンバー20人が月2回、川口市内の集会所で練習に取り組んでいる。お年寄りに加え、若いファミリーの参加も増えているという。6回目の出演となる元小学校教諭の源けさみさん(61)は、親子三代で参加す

る。次男の敬介さん(30)は初演以来2回目、妻真未さん(30)と長女壱乃未ちゃん(1)も舞台に立つ。源さんは「子どもたちと一緒に歌うので楽しみ。平和を愛する思いを伝えたい」と話した。荒木さんは「こまめな練習で歌い続けてきたのは、歌の魅力とたくさんの方の思いが重なったから。毎回、歌い終えると本当に晴れやかな気持ちになります」と話した。問い合わせは合唱団(☎048・2688・6256)。メールアドレス(ka.waguchizou21@sg.dion.ne.jp)。



本番に向け練習を重ねる「川口ぞうれっしゃ合唱団」のメンバー川口市内の集会所で